

ナシ交配用ミツバチ使用のポイント

令和6年3月 千葉県

人工授粉だけでなく
ミツバチ等による自然受粉も活用して
目標の着果数を確保しましょう！



【殺菌剤】

トレノックスフロアブルは
入地期間中も
使用可能

- ★ただしハチが飛ばない時間帯に散布する！
- ★ハチと人工授粉を併用する場合、散布当日は着果率等に影響があるので注意！

【殺虫剤】

入地期間中は
使用不可！

ダイアジノン水和剤34は
返却後に使用

★入地前の使用時期にも注意！

【対象害虫】	【殺虫剤名】	【入地前の散布】
チョウ目	サムコルフロアブル10	3日前まで
	フェニックスフロアブル	3日前まで
チョウ目 アブラムシ	エクシレルSE	3日前まで
	ヨーバルフロアブル	14日前まで
	ダイアジノン 水和剤34	不可
アブラムシ	ウララDF	3日前まで

★ダイアジノンは放飼園の隣接園でも使用を避ける

【群数の目安】

3～5群 /ha

【ハチの行動範囲】

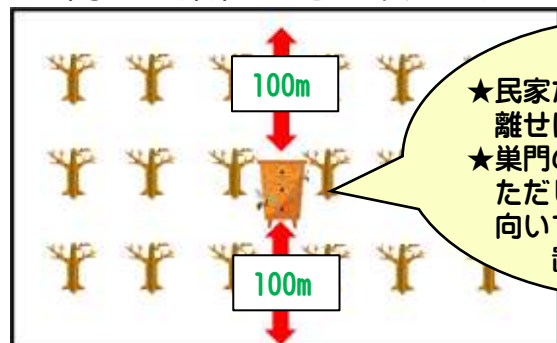
巣箱から50～100m

★ほ場全体がカバーできる位置に巣箱を配置する（下図）

【入地期間】

10～12日間を
目安に

【園内での巣箱の配置イメージ】



- ★民家などから100m以上離せばフン被害のリスク低減
- ★巣門の向きは南（または東）ただし、フン被害は巣門が向いている方向に多いため置き方に注意

※住宅街ではフンへの苦情や住民が刺される等のリスクがあるので注意

- ★豊水の開花初期に入れば幸水の開花後半までカバーすることができます
- ★病害虫の適期防除を行うため必要以上に長く設置しない

ミツバチも
うまく使えば
立派な戦力！

